

歯磨きで虫歯予防

明野小1年生が親子レク

保護者がしっかり点検を

苫小牧明野小学校(寺田洋子校長)でこのほど、1年生の親子レクリエーションが行われ、講師となった市内の歯科医師が、虫歯予防の大切さを児童に伝えた。

児童6人と保護者が参加。永久歯が生え始める大事な時期に専門家から適切な指導を受けようと開かれた。まず、歯科医師が1日40歳以上の糖分

を取ると虫歯になりやすい事実や炭酸飲料やスポーツドリンクにもたくさん糖分が含まれていることを分かりやすく解説した。

その後、児童たちは歯科衛生士から紙芝居などで虫歯は歯と歯の間、歯と歯茎の間にできやすいことや歯磨きの後、保護

者にチェックしてもらったことを学んだ。このほか、市内の教員が以前に作詞作曲をした「はみがきソング」を鑑賞。虫歯にならないための歯磨きを実践した。

「はみがきソング」を聴きながら歯の大切さを学んだ児童たち

